

旭川市科学館報

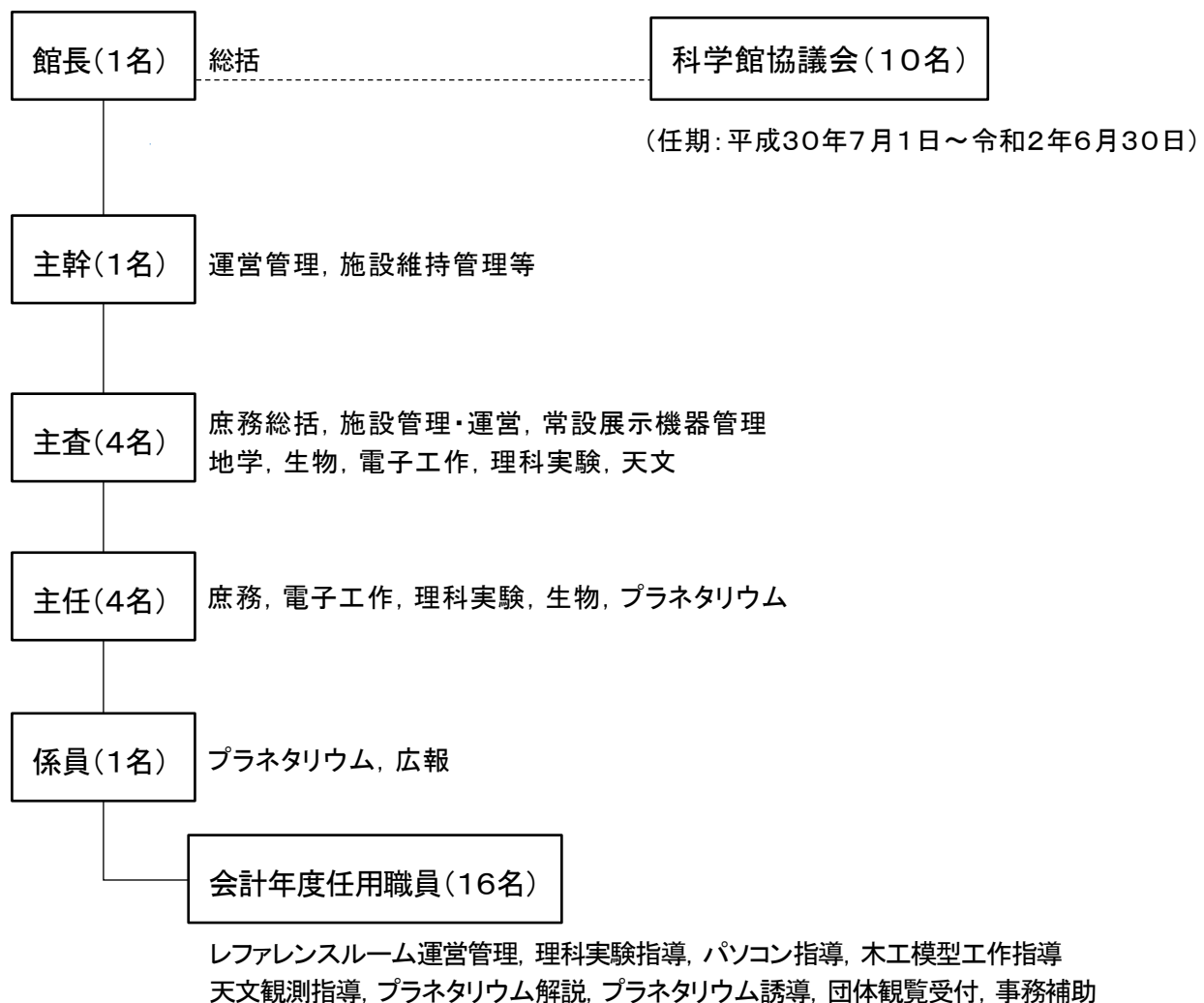
—令和元年度版—

Vol. 12
令和2(2020)年

目 次

運営組織及び職員数	1
I 旭川市科学館の概要	
1 考え方	2
2 沿革	2
3 施設概要	3
4 主要設備等	4
5 利用状況	6
II 学習普及活動	
1 展示事業	7
2 実験実習事業	8
3 イベント・行事	13
4 天文普及事業	16
5 学校等連携・人材育成事業	20
6 ボランティア事業	22
III その他の取組	
1 調査研究活動	23
2 刊行物	23
3 広報活動	23
IV 科学館利用案内	
1 開館日等	24
2 観覧料	24
3 貸室事業	26
4 施設へのアクセス	27

運営組織及び職員数



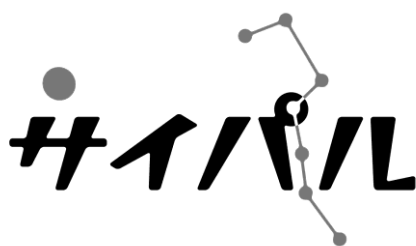
科学館職員 計27名
(令和2年4月1日現在)

I 旭川市科学館の概要

1 考え方

現在、気候変動に伴う災害の増加や人為的な要因も含む生物多様性の損失など、私たちの生活と深く関係している様々な課題が、地球規模で発生しています。そうした課題に対応していくためには、科学の分野の枠を超えた、柔軟な発想をもつ人材の育成が必要とされています。

旭川市科学館「サイパル」では、様々な科学に関する情報を伝え、科学への関心や理解を深めるため、「ふしぎからはじまる＜科学＞との出会い」をテーマに、物理学、化学、生物学、地学など、あらゆる自然科学分野を対象とした多彩な学習普及活動を進めています。



旭川市科学館の愛称「サイパル」の由来

「サイパル」とは SCIENCE（科学）と PAL（仲間、友達）を組み合わせた言葉です。

また、様々な科学の彩りに出会える絵の具を散りばめたサイエンスパレットの略です。

新しい科学館の建設地の北彩都（きたさいと）あさひかわの「彩」もイメージしています。

科学に親しみ、科学を通して交流の輪が広がってほしい。そんな願いが込められています。



旭川市科学館
マスコットキャラクター
「コロッ・クル」

地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに、古くから欧米では「学問の神様」として扱われアイヌの人たちには「森の守り神」として敬愛されたフクロウを組み合わせた架空のキャラクターです。

コロッ・クルは、アイヌの伝承に登場するコロポックルからネーミングされました。

2 沿革

昭和 38 年 11 月 3 日	旭川市青少年科学館が旭川市常磐公園に開館
平成 17 年 1 月 30 日	新築移転のため閉館
平成 17 年 7 月 23 日	旭川市科学館「サイパル」として現在地に移転、開館
平成 17 年 8 月 13 日	入館者 10 万人を達成
平成 18 年 5 月 4 日	入館者 50 万人を達成
平成 19 年 8 月 10 日	入館者 100 万人を達成
平成 23 年 3 月 13 日	入館者 200 万人を達成
平成 26 年 11 月 9 日	入館者 300 万人を達成
平成 27 年 7 月 23 日	新館開館 10 周年
平成 30 年 7 月 15 日	入館者 400 万人を達成



旭川市科学館 外観

3 施設概要

旭川市科学館は「北彩都あさひかわ」シビックコア地区に位置し、神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれ、のびのびとした空間で自然科学を学べる大きな特徴です。

館内では多くの方々が利用する常設展示室や特別展示室、プラネタリウムなどを1階に、実験実習室などを2階に、大小2基の天文台を4階に配置し、子供から高齢者、ハンディキャップを持つ方々など、誰もが使いやすいようユニバーサルデザインの考え方を取り入れています。

また、シンボル展示「水竜」や、国際家具デザインフェア旭川コンペティション入選作品など優れた地場木製家具の「旭川家具」を配置し、特色ある空間づくりにも配慮しています。

敷地内には、鳥や昆虫などを観察できる野外自然観察空間を設けているほか、屋外に雪室棟を設置し、冬期の駐車場の排雪を利用して夏期の消費電力を抑える雪冷房システムを導入するなど、環境に配慮した取組を行っています。

- ・所在地 旭川市宮前1条3丁目3番32号
- ・敷地面積 27,099.65 m²
- ・延床面積 5,799.59 m²（車庫棟・雪室棟を除く）
- ・構造 鉄筋コンクリート造、一部プレストレストコンクリート造及び鉄骨造、4階建
- ・総事業費 48億1,432万3千円（用地購入費、一部外構工事等除く）

各室の内訳

1階	常設展示室（約1,600 m ² ）	(3) 常設展示室詳細参照
	特別展示室（約180 m ² ）	各種の特別展を開催
	プラネタリウム（375 m ² ）	4 (2) プラネタリウム詳細参照
	学習・研修室（約150 m ² ）	126席、各種視聴覚機器
	インフォメーション	観覧受付
	エントランスホール	シンボル展示、休憩コーナー等
	ミュージアムショップ	各種の科学グッズの販売
	事務室ほか	
2階	パソコン実習室	パソコンを使った学習など
	電子工作室	電子機械工作などの実習
	理科実験室・準備室	物理・化学などの実験実習
	木工模型工作室・作業・準備室	木工・模型工作実習など
	レファレンスルーム・準備室	生物・地学などの観察実習、自主研究用に各種資料を開放
	休憩コーナー	南東・北西の角に設置（2か所）
	空調機械室、熱源機械室等	※一般開放スペースなし
3階	発電機室	※一般開放スペースなし
	機械室	※一般開放スペースなし
4階	天文台（約90 m ² ）	4 (3) 天文台詳細参照
屋外	駐車場・駐輪場	一般車両76台、大型バス6台、身障者用駐車場5台、自転車100台
	エントランス広場、円環広場	休憩・昼食場所、野外での実験実習スペース
	野外自然観察空間（約5,000 m ² ）	在来種の雑木林、トンボ池、2基の野外展示など

4 主要設備等

(1) 常設展示

北国・地球・宇宙の3つをテーマとした全46点の体験型の科学模型、キッズコーナー、科学に関する2D・3D映像を上映するサイエンスシアターを展示。

	テーマ	展 示 名
展 示 物	北国 (全9点)	■北国の動物はなぜ大きい ■氷河期と海面変位 ■虫の目から見た自然 ■雪の結晶 ■ナダレンジャー ■北国の天気 ■旭川ズームイン! ■水滴のダンス ■低温実験室
	地球 (全31点)	■身体ズームイン ■内臓パズル ■呼吸のしくみ ■人体スキャン ■消化器のはたらき ■表情の不思議 ■生命の誕生 ■風をおこそう ■ロボットサッカー ■ボールコースター ■電磁サークル ■スケスケマシン ■手さぐりの通路 ■錯覚の部屋 ■光のサッカー ■ジャンボシャボン ■空中スクリーン ■光の三原色 ■影で遊ぼう ■バーチャルフライト ■スピードガン ■ボディーアタック ■地震体験 ■火山をつくろう ■雲をつくろう ■対流をみよう! ■人類の進化 ■地球環境問題クイズ ■燃料電池のしくみ ■温暖化から地球を救え ■大陸移動 ※この他にキッズコーナーを併設
	宇宙 (全6点)	■ムーンジャンプ ■宇宙ゴマ ■月の満ち欠け ■星の回転運動 ■宇宙旅行 ■クイズスペース1
サイ エ ン ス シ ア タ ー	3 D	北国 ■雪の結晶 ■大雪山の成り立ち ■エゾモモンガ
		地球 ■巨大台風 ■オーロラ その神秘に迫る ■氷河と地球温暖化
		宇宙 ■宇宙ステーション ■毛利さんと飛ぶ宇宙から見た水の惑星 ■暗黒ブラックホール
	2 D	北国 ■石狩川夢の旅人
		地球 ■謎の深海底
		宇宙 ■テラフォーミング ～地球から火星へ～



常設展示室

(2) プラネタリウム

面 積	670 m ² (客室 232 m ² , プロジェクションギャラリー112 m ² , ロビー228 m ² , その他 98 m ²)
ドーム	直径 18m, 水平型・平面床 170 席 (うち 2 人掛け椅子 5 脚, 通常時同心円配列・映像投影一部回転式)
投影機	カール・ツァイス社製スターマスターZMP (コンピュータ制御, 光源・光ファイバー式), 全天周ドーム映像装置など付設
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生解説によるマニュアル投影 ・ 国内初のコンピュータ制御式カール・ツァイス社製投影機 (導入当時) ・ 同心円配列の座席としては, 我が国初の回転可動式座席



カール・ツァイス社製スターマスターZMP

(3) 天文台

位置	北緯 43 度 45 分 23 秒 東経 142 度 22 分 13 秒 標高 143m
面積	173 m ² (大天文台 50 m ² , 小天文台 19 m ² , 準備室 20 m ² , その他 84 m ²)
大天文台	ドーム直径 8m, 口径 65 cm カセグレン式反射望遠鏡 (三鷹光器製) 及び付属望遠鏡 2 基設置, 光電測光装置・バリアフリー接眼装置付設, コンピュータコントロール方式, 遠隔操作・観測画像配信システム
小天文台	ドーム直径 5m, 口径 20 cm 屈折望遠鏡 (三鷹光器製) 及び太陽ビデオ撮影機能付属望遠鏡 2 基設置, 太陽投影板・太陽用 H α フィルター。太陽用ビデオカメラ・バリアフリー接眼装置付設, コンピュータコントロール方式, 遠隔操作・観測画像配信システム
観測デッキ	口径 10 cm の移動式天体望遠鏡や双眼鏡を使って広範囲の星空を観察



天文台設備

(4) レファレンスルーム

設置・使用目的	各科学分野に関する自習スペースとして開放するとともに、生物・地学分野の観察・実習活動の場として活用
備付け備品類	走査電子顕微鏡(係員が立会で使用)、双眼顕微鏡、インキュベーター、その他各種観察・実験器具
備付け資料など	科学関係図書・DVD等、植物・昆虫・鉱物標本、動物・野鳥・昆虫・植物の写真ファイル、昆虫などの生体 ほか

5 利用状況

(1) 施設利用者数(令和元年度)

内訳 月	常設展示室	プラネタリウム	天文台	レファレンス ルーム	事業活動等 参加者	その他	合計	平成30年度
4	7,987	4,190	1,688	1,958	5,442	159	21,424	18,939
5	11,286	5,475	2,019	2,549	9,007	30	30,366	30,249
6	6,430	3,115	988	1,636	2,104	72	14,345	13,822
7	11,394	4,027	1,524	2,450	6,807	457	26,659	28,545
8	19,588	3,708	2,185	3,749	26,792	124	56,146	49,827
9	6,874	3,072	1,196	1,589	2,557	144	15,432	15,920
10	6,782	3,371	986	1,769	6,831	221	19,960	19,658
11	6,352	2,990	1,006	1,942	5,988	162	18,440	18,916
12	3,624	1,447	489	898	2,930	46	9,434	9,956
1	5,641	1,407	536	1,609	6,659	1,079	16,931	16,044
2	2,852	1,288	358	823	1,639	367	7,327	8,441
3	422	9	99	2	409	0	941	18,670
合計	89,232	34,099	13,074	20,974	77,165	2,861	237,405	248,987

※日平均入館者数 802 人/日(開館日数:296 日)

(2) 施設利用者数の推移

年 度	常設展示室	プラネタリウム	天文台	レファレンス ルーム	事業活動 ・その他	計	備 考
H22	130,229	64,828	19,087	8,057	84,896	307,097	6月～9月無休開館
H23	131,268	66,611	15,576	9,101	78,600	301,156	〃
H24	115,940	60,930	13,959	14,730	63,726	269,285	〃
H25	120,877	62,656	16,667	15,380	61,166	276,746	〃
H26	110,264	54,242	13,420	17,142	54,500	249,568	〃
H27	113,324	49,491	15,163	19,110	70,161	267,249	〃
H28	100,312	46,873	13,350	17,568	56,555	234,658	〃
H29	100,421	38,131	12,877	20,283	74,425	246,137	〃
H30	100,536	38,582	12,316	21,112	76,441	248,987	〃
R1	89,232	34,099	13,074	20,974	80,026	237,405	7月中旬～8月無休開館

Ⅱ 学習普及活動

1 展示事業

(1) 常設展示利用者数 (単位：人)

区分 月	個人					団体					計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	3,507	76	3,555	331	7,469	78	111	167	162	518	7,987
5	4,709	134	4,169	392	9,404	47	0	1,531	304	1,882	11,286
6	2,085	34	2,115	202	4,436	0	79	1,446	469	1,994	6,430
7	3,466	60	3,762	277	7,565	163	0	2,926	740	3,829	11,394
8	8,064	170	8,278	641	17,153	50	0	1,698	687	2,435	19,588
9	2,754	41	2,342	201	5,338	78	0	994	464	1,536	6,874
10	2,888	61	2,519	251	5,719	62	0	565	436	1,063	6,782
11	3,083	44	2,642	181	5,950	20	0	271	111	402	6,352
12	1,539	29	1,362	133	3,063	20	0	358	183	561	3,624
1	2,331	43	2,297	167	4,838	20	0	578	205	803	5,641
2	1,482	46	1,088	113	2,729	0	0	83	40	123	2,852
3	195	11	203	13	422	0	0	0	0	0	422
計	36,103	749	34,332	2,902	74,086	538	190	10,617	3,801	15,146	89,232

※「その他」は観覧料免除者（身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・行政視察等）

(2) 特別事業

ア コロツ・クルの夏休み

内容	参加者数	開催期間
プラネタリウム特別上映「名探偵コナン 探偵たちの星月夜」、夏休みかんたん工作、サイエンスショー「ドラム缶つぶしの実験」、アクティブキッズひろば、こどもデザイン教室、旭川工業高校のサイエンスショー、サイパル夏縁日、測量・ドローン体験など	27,253 人	7/25～9/1

イ コロツ・クルの冬休み

内容	参加者数	開催期間
プラネタリウム特別上映「名探偵コナン 探偵たちの星月夜」、冬休みかんたん工作、サイエンス・トライアウト、木工チューチューカー、LEGO ブロック教室、旭川工業高校のサイエンスショー、ジオフェスティバル in Asahikawa、旭川学生の科学展など	6,733 人	12/24～1/15

2 実験実習事業

(1) 講演・講座

ア 市民科学講座「サイエンス・セミナー」

内容	参加者数	開催日
「恐竜はかせのトークライブ」 講師：小林快次顧問（北海道大学博物館教授）	92 人	8/4
「岡田弘名誉館長と行くサイエンス・ツアー」 講師：岡田弘名誉館長	14 人	8/11
「ブラックホール～最近の成果から～」 講師：渡部潤一顧問（国立天文台副台長）	119 人	12/8
「人物史でたどる地震・火山防災 150 年間のあゆみ」 講師：岡田弘名誉館長	34 人	1/11



岡田弘名誉館長



小林快次顧問

イ 講演会「野鳥講演会」

内容	会場	参加者数	開催日
「美しき海洋に生きる海の冒険者たち」 講師：自然写真家 寺沢孝毅氏	大雪クリスタルホール	155 人	4/14



野鳥講演会

(2) 実験実習・体験講座

ア 科学館クラブ

	クラブ名	内容	対象	参加者数	開催日
前期	星・宇宙	季節の星座や一等星, 惑星の解説と望遠鏡による観測	小 3～中学生の親子	82 人	5 月～9 月の土曜 (5 回)
	理科	10 テーマの実験や観察	小 4, 5	221 人	5 月～9 月の木曜・日曜 (10 回)
	科学工作	センサ付きLEDあんどの製作	小 4, 5	152 人	6 月～8 月の土曜 (10 回)
	パソコン	スクラッチ (Scratch) を使用したプログラミング学習	小 4, 5	108 人	5 月～9 月の日曜 (10 回)
	実験・木工	理科実験と木工	小 6～中学生	88 人	5 月～9 月の日曜 (10 回)
後期	星・宇宙	季節の星座や一等星, 惑星の解説と望遠鏡による観測	小 3～中学生の親子	73 人	11 月～2 月の土曜 (4 回)
	理科	10 テーマの実験や観察	小 4, 5	124 人	11 月～2 月の日曜 (8 回)
	科学工作	フォトスタンド付きラジオの製作	小 4, 5	138 人	11 月～2 月の土曜 (10 回)
	パソコン	スクラッチ (Scratch) を使用したプログラミング学習	小 4, 5	128 人	11 月～2 月の日曜 (10 回)
	実験・電子工作	理科実験と電子工作	小 6～中学生	90 人	11 月～3 月の日曜 (8 回)

イ 親子でチャレンジ! わくわく実験室

内容	対象	参加者数	開催日
親子で簡単な実験実習を体験	小 2, 小 3 の親子	336 人	5 月～7 月の土 (5 回)
		426 人	11 月～2 月の土 (6 回)

ウ こども科学博士

内容	対象	参加者数	開催日
スカイカブ作り	小 1～3 の親子	18 人	7/25
パラシュートロケット作り		32 人	8/1
マーブルクレヨン作り		32 人	8/4
ぱたぱた飛行機作り		20 人	8/8
さとうの科学		32 人	12/27
磁石でものづくり		28 人	1/10

エ パソコン基礎講座

内容	対象	参加者数	開催日
たのしくパソコン	高齢のパソコン 初心者	98 人	5 月～8 月
たのしくパソコン		92 人	8 月～11 月
たのしくパソコン		15 人	1 月～3 月 (3 月分は中止)
ステップアップ Word		12 人	11/7～11/9
はじめての Excel		21 人	3/26～3/28

オ スクラッチでプログラミング

内容	対象	参加者数	開催日
簡易プログラミング言語「スクラッチ」をマスター	小学 1～3 年生 と保護者	46 人	7/30～8/1

カ スキルアップ Excel

内容	対象	参加者数	開催日
Excel のマクロ機能を学ぶ	大人	18 人	10/12～14

キ 地学体験学習

内容	対象	参加者数	開催日
パワーストーンの標本づくり	小学生以上	26 人	4/24, 5/17
アンモナイトの化石の中を調べよう	小学生以上	17 人	6/15, 8/10
化石採取会	小学生以上	22 人	7/20, 8/3
親子アンモナイトクリーニング体験	小学生以上	9 人	8/13
小フォールムジオパークと 130 年後を想う・語る	小学生以上	11 人	8/31, 9/8
伊野川で石拾い	小学生以上	8 人	9/28
石磨き	小学生以上	3 人	10/4
石磨き	小学生以上	11 人	10/18
パワーストーンの標本づくりと水晶石英観察	小学生以上	18 人	11/2
ジオパーク講座①「ジオパークを知る」	小学生以上	13 人	7/23, 26
ジオパーク講座②「上川盆地の化石」	小学生以上	29 人	7/25, 30
ジオパーク講座③「上川盆地の生い立ち」	小学生以上	21 人	8/22, 23
ジオパーク講座④「扇状地と私たちの歴史と生活」	小学生以上	18 人	8/27, 29
ジオパーク講座⑤「130 年後のこの地域を考える」	小学生以上	15 人	9/3, 5, 6
ジオパーク講座⑥「ジオサイト紹介」	小学生以上	6 人	9/26
ジオパーク講座⑦「何故、旭川では地震が少ないの？」	小学生以上	6 人	9/27
ジオパーク講座⑧「ジオサイト紹介」	小学生以上	5 人	10/11
ジオパーク講座⑨「ジオサイト紹介」	小学生以上	6 人	10/17
ジオパーク講座⑩「ジオサイト紹介」	小学生以上	6 人	11/2
ジオパーク講座⑪「何故、神居古潭峡谷があるの？」	小学生以上	13 人	11/15
ジオパーク講座⑫「ジオサイト紹介」	小学生以上	10 人	12/6
ジオパーク講座⑬「ジオサイト紹介」	小学生以上	20 人	2/14

(3) ものづくり教室

内容		対象	参加者数	開催日
市民木工教室	ダストボックスの製作	高校生以上	9 人	7/14
	アーム付スツールの製作		20 人	9/7, 9/8
	飾り棚の製作		14 人	10/12, 10/13
	折りたたみもたれ椅子の製作		20 人	1/18, 1/19
	木の玩具 2 種の製作		(中止)	3/14
親子木工教室	竹ひご動力カーの製作	小 3, 小 4 と保護者	20 人	7/27
	ミニ小物入れの製作		18 人	12/21
ジュニア木工教室	いす型本立ての製作	小 4 ～中学生	14 人	8/2
	ミニシェルフの製作		16 人	12/27
親子とんとん工作	ティッシュケースを作ろう	小 1, 小 2 と保護者	20 人	8/9
	手提げ小物ラックを作ろう		20 人	1/11
初歩の電子工作	LED 常夜灯の製作	小 3, 小 4	10 人	8/1
	CDS サウンダーの製作		10 人	8/10
	ラジオの製作		10 人	1/12
大人のための電子工作	cafe コンポの製作	高校生以上	5 人	7/7
	Bluetooth スピーカーの製作		5 人	9/28
	プログラムファンの製作		4 人	12/15
	テルミン風電子ブザーの製作		(中止)	3/8
キッズ電子工作	はこらじの製作	小 4 ～中学生	9 人	7/29
	ワイヤレスマイクの製作		10 人	8/7
	クリスマスツリーの製作		9 人	12/22
	えんぴつオルガンの製作		10 人	1/10
らくらく工作室	ポンポン蒸気船を作ろう	小学生	19 人	7/28
	ミウラ折りに挑戦！		16 人	1/11
糸のこ体験工作	木のキーホルダー作り (木～日曜の実施可能な日)	どなたでも	138 人	1/9～2/21
親子かんたん電子工作室	ソーラーカーの製作	小 1 ～小 3 と保護者	20 人	8/5
	はこらじの製作		20 人	12/24
	チャージレーサーの製作		18 人	1/7

(4) 野外活動

ア 自然観察会

内容	対象	参加者数	開催日
野外自然観察空間 トンボ池の観察	小3以上の親子	21人	6/16
サケ遡上見学会	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	14人	10/26



野外自然観察空間 トンボ池の観察



サケ遡上見学会

イ 自然体験学習

内容	対象	参加者数	開催日
ウチダザリガニを捕まえてみよう	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	31人	9/8



ウチダザリガニを捕まえてみよう

3 イベント・行事

(1) 科学イベント

ア サイエンススタジオ

内容	参加者数	開催日
春休みかんたん工作	1,045 人	4/2～4
コロッ・クルの10連休	10,559 人	4/27～5/6
くんせい体験	160 人	9/23
冬のサイエンススタジオ	655 人	11/24
サイエンス・トライアウト	1,043 人	12/29
コロッ・クルの春休み	363 人	3/26～3/31

イ サタデーサイエンスひろば

内容	参加者数	開催日
「燃焼の実験」など、月毎にテーマを変えたサイエンスショー	3,342 人	土(計 39 回)

ウ 低温実験

内容	参加者数	開催日
氷点下 30℃の低温実験室で、過冷却水やダイヤモンドダストの観察実験等を実施	4,664 人	休館日を除く土日祝及び長期休暇期間(計 131 回)

エ 科学館まつり

内容	参加者数	開催日
常設展示室・プラネタリウム無料開放と各種無料体験ブース	3,653 人	11/3

オ わくわくワーク

内容	参加者数	開催日
単極モーター	8 人	11/30
音と聞こえの不思議	23 人	12/7
ゆきぐるぐる	16 人	12/14
ホバークラフト	14 人	12/21
磁石のエネルギー	75 人	1/18
エゾサンショウオウォッチング	43 人	1/25
絵馬作り	39 人	2/1
おもしろネオジム磁石	25 人	2/8
透き通る石のふしぎ	25 人	2/15
こぼれない水?!	39 人	2/22

カ ミニミニ展示

内容	参加者数	開催日
上川盆地の化石	45 人	4/27～6/11
上川盆地の岩石	193 人	7/20～8/18
大雪山カムイミントラジオパーク構想パネル展示	532 人	8/10～9/23
地質資源利活用展	343 人	9/24～10/20
シロザケ生態展示	—	9/24～11/3
ジオサイト紹介展（１）	166 人	11/9～12/1
ジオサイト紹介展（２）	408 人	12/22～1/19

（２）各種行事

ア 科学の夢の図画コンクール

科学的な探求心と想像力を伸ばし、科学に対する親近感を助長させることを目的とした、旭川市内の小中学生を対象とした科学の夢を描いた図画作品のコンテスト。

【応募者数】小学生 102 人，中学生 9 人

【優秀作品展示会】 10/8～10/14

【特別賞受賞者表彰式】 10/14

イ 「宇宙の日」全国小・中学生作文・絵画コンテスト

小・中学生に宇宙や天文について夢と興味を持ってもらうことを目的とした、「宇宙の日」記念行事として開催される作文・絵画作品のコンテスト。

【応募者数】小学生 6 人，中学生 2 人

ウ 科学技術週間行事（「一家に１枚」ポスターの配布）

科学技術の理解促進を目的とした文部科学省監修による『日本列島 7 億年』を自由に持ち帰ってもらえるよう、4 月 15 日（日）から館内及び市の施設に配置。

エ 科学技術映像祭入選作品上映会

科学技術映像祭入選作品の一部を、開館時間中にエントランスホールにてリピート上映。

【期間】 休館日を除く土日祝および長期休暇期間

【上映作品】

からだの中の宇宙—超高精細映像が解き明かす—

NHKスペシャル 「秘島探検 東京ロストワールド 第1集 南硫黄島」

NHKスペシャル 「見えないものが見える川 奇跡の清流 銚子川」

ガリレオX 「ソフトロボティクスの世界 やわらかさを目指す最新ロボット研究」

テレビアニメ「はたらく細胞」

NNNドキュメント' 18 「ハイスクールは水族館！！」

日本のチカラ 「出張！プラネタリウム ～星と人をつなぐ 宙先案内人～」

オ 共催事業

内容	共催先	参加者数	開催日
野鳥講演会	日本野鳥の会旭川支部, 旭川野鳥の会	155 人	4/14
ジオパーク講演会	カムイの大地地域振興支援センター	250 人	7/14
みどりの回廊展	あさひかわ自然共生ネットワーク	593 人	8/7, 8
生物多様性セミナー	旭川生物多様性保全推進協議会	29 人	8/24
北海道自然フォーラム（第1回）	命をつなぐプロジェクト	51 人	9/1
北海道自然フォーラム（第2回）	命をつなぐプロジェクト	50 人	10/5
バリアフリーおもちゃ博	バリアフリーおもちゃ博実行委員会	4,460 人	10/19～20
私たちの身のまわりの環境地図 作品展	環境地図教育研究会	765 人	10/26～27
北海道自然フォーラム（第3回）	命をつなぐプロジェクト	60 人	11/23
蛇紋岩の石磨き	旭川生涯学習フェア「まなびピアあさ ひかわ」（協力事業）	55 人	2/8
わくわくサイエンス		440 人	2/9

4 天文普及事業

(1) プラネタリウム事業

天文知識の啓発・普及を目的に、旭川の空に見える季節の星座を紹介する一般番組を中心に、学習番組投影、幼児番組投影、イベント的な特別投影を展開している。

ア プラネタリウム観覧者数（※小人は幼児を含む）

（単位：人）

区分 月	個人					団体					合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	1,924	50	1,613	246	3,833	81	115	115	46	357	4,190
5	2,395	71	1,985	234	4,685	66	12	608	104	790	5,475
6	1,097	15	827	154	2,093	47	87	597	291	1,022	3,115
7	1,274	31	986	106	2,397	188	0	1,099	343	1,630	4,027
8	1,687	40	804	11	2,542	41	1	857	267	1,166	3,708
9	1,328	21	854	147	2,350	28	0	546	148	722	3,072
10	1,535	31	1,108	163	2,837	63	15	293	163	534	3,371
11	1,538	18	1,075	92	2,723	20	4	184	59	267	2,990
12	608	24	549	76	1,257	34	0	81	75	190	1,447
1	693	20	410	18	1,141	0	0	188	78	266	1,407
2	753	17	379	71	1,220	0	0	54	14	68	1,288
3	7	0	0	2	9	0	0	0	0	0	9
合計	14,839	338	10,590	1,320	27,087	568	234	4,622	1,588	7,012	34,099

※「その他」は観覧料免除者（身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・視察）

※「団体」は団体料金適用者

イ プラネタリウム観覧団体数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体数	9	13	27	52	44	30	23	16	12	12	2	0	240

ウ プラネタリウム一般番組

日の入りから夜8時の空、そして日の出までの旭川の星空を中心に、約40分の星座解説を行う。担当者がそれぞれ番組を自作し、生解説による投影を行っている。

番組タイトル	投影期間	テーマ	投影回数	観覧者数
春の星空動物園	4/1～4/30	春の星座	68回	1,424人
南十字星をさがして	5/1～6/30	南半球の星	135回	2,473人
天の川と七夕伝説	7/1～8/31	夏の星座	105回	2,975人
月といろいろな衛星	9/1～10/30	中秋の名月と衛星	113回	2,715人
冬の流れ星	11/1～12/31	冬の星座と彗星	99回	1,861人
真冬の宝石箱	1/1～2/29	冬の星座と恒星	98回	1,395人
北の親子星	3/1～3/31	おおぐま座、こぐま座	2回	9人
合計			618回	12,852人

エ プラネタリウム特別投影

a ドームシアター（全天周デジタル映像投影装置を利用した上映）

番組タイトル	内 容	投影回数	観覧者数
見えない宇宙を探る ダークユニバース	目に見えないダークマターと宇宙のはじまりの話（オート番組）	280 回	8,090 人
ポケットモンスター サン&ムーンプラネタリウム	ポケットモンスターのプラネタリウムアニメーション番組（オート番組）	9 回	764 人

b 幼児番組

幼稚園・保育所等の未就学児団体を主な対象に、物語を多く取り入れた 20 分前後の番組を製作・投影している。

番組タイトル	投影期間	テーマ	投影回数	観覧者数
わんわんわん	4/1～4/30	冬から春の星座, おおいぬ座, こいぬ座	27 回	1,097 人
夜空の動物園	5/1～6/30	春の星座, 動物星座	55 回	2,010 人
夏のほしとたなばた	7/1～8/31	夏の星座, 七夕伝説	25 回	1,453 人
かぐやひめ	9/1～10/30	秋の星座, かぐやひめのお話	45 回	1,778 人
クリスマスのふしぎ	11/1～12/31	冬の星座, クリスマスのお話	32 回	1,064 人
ふゆのせいざ	1/1～2/29	冬の星座, エリダヌス座のお話	33 回	497 人
わんわんわん	3/1～3/31	冬, 春の星座, おおいぬ座, こいぬ座	0 回	0 人
合計			217 回	7,899 人

c 学習番組

時間や天候などの制約が多い実天観測に代えて、プラネタリウムで天体の動きを見せながら解説することで、天文・宇宙に対する理解を促す。

対象	番組内容	各月の観覧者数（プラネタリウム総観覧者数に含む）												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
小学 3 年生	かげと太陽 （太陽の動きと影の でき方）	0	0	0	106	0	0	0	0	0	0	0	0	106
小学 4 年生	月と季節の星座 （月の形と動き, 季 節の星座）	0	0	119	40	196	178	108	25	20	0	0	0	686
小学 6 年生	月と太陽 （月の満ち欠け）	0	0	0	58	113	53	0	0	0	0	0	0	224
中学生	地球の動きと星の動き （自転・公転と天体の 見かけの動き）	0	190	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	190
	太陽系と宇宙の構造 （太陽系の惑星, 銀河 系など）	0	110	23	0	0	0	10	0	0	0	0	0	143

d 特別番組

番組タイトル	内 容	投影会期	観覧者数
星空ヒーリング	星空の下、ヨガやストレッチを取り入れたヒーリング番組	8/11～15 (計 5 回)	202 人
星空ハロウィンパーティー	ハロウィンをテーマに簡単な英語を織り交ぜながら星空を紹介する特別番組。 (10/22, 23, 26, 27)	10/22, 23, 26, 27 (計 4 回)	194 人
星空の下の朗読会	朗読ボランティアとの共同企画。プラネタリウムドームを使って絵本の世界を楽しむ 1 日限りの特別番組。(11/3)	11/3	153 人

(2) 天文台事業

ア 天文台見学

内 容	参加者数	開催日
昼間に見える星や太陽黒点の観測	12,316 人	4 月～3 月

イ 星の教室

内 容	参加者数	開催日
天体観測講座 ～天体の観測と撮影について～	8 人	5/19
巨大ガス惑星 木星・土星のおはなし	21 人	7/28
天体パルサーの正体に迫る	18 人	9/22
宇宙元素合成：星くずと私たち	33 人	11/24
今年のア天文現象 2020	8 人	1/26
重力波と巨大ブラックホールの謎 ～重力波の初観測や巨大ブラックホール撮影ニュースから～	20 人	3/29

ウ 親子天文博士

内 容	参加者数	開催日
親子で天体望遠鏡の組み立て・設置・観測の体験	16 人	6/15, 9/7

エ 天体を見る会

内 容	参加者数	開催日
春の星と月の観測	41 人	4/13
春の星の観測	9 人	4/27
春の星と月の観測	25 人	5/11
春の星と月の観測	36 人	5/18
春の星の観測	48 人	6/1
春の星と木星の観測	25 人	6/29
木星と月の観測	33 人	7/13
木星・土星の観測	86 人	7/27
七夕の星の観測	50 人	8/7
夏の星と土星・木星の観測	28 人	8/17

内 容	参加者数	開催日
土星・木星の観測	47 人	8/31
中秋の名月	131 人	9/13
海王星・土星の観測	103 人	9/28
海王星・土星と月の観測	28 人	10/5
海王星・天王星と月の観測	33 人	11/9
海王星・天王星と月の観測	16 人	12/14
冬の星と天王星の観測	45 人	1/18
冬の星と天王星・月の観測	15 人	2/1
冬の星と月の観測 (中止)	0 人	3/7

オ 出張天文教室

内容	参加者数	開催日
旭川市市民活動センターCoCoDe キャンドルナイト in 旭川 天体観測	20 人	6/16
きくし幼稚園お泊まり会天体観測	45 人	7/12
神居公民館にて百寿大学向けの天文講座	34 人	8/7

カ 夏・冬休み天文教室

内容	参加者数	開催日
天体望遠鏡の製作と使い方のレクチャーなど	20 人	7/31, 12/26

キ コズミック・カレッジ

内容	参加者数	開催日
ゴム動力飛行機の製作と試験飛行	9 人	8/3

5 学校等連携・人材育成事業

(1) 学校等連携事業

ア 科学館体験学習

科学館利用団体の要望に応じ、サイエンスショーや理科実験・電子工作・木工工作・地学実習などのメニューを実施

内容	参加者数	開催日
「超低温の実験」,「色々スライムをつくろう」, 低温実験, 「パソコンデザインのプラ板キーホルダー」, 「小物入れをつくろう」, 「アンモナイトのレプリカづくり」など	2,080 人	通年で実施

イ 職場体験学習の受け入れ

内容	参加者数	開催日
北海道教育大学附属旭川中学校	4 人	8/29
永山中学校	18 人	8/29

ウ プラネタリウムの学校授業での活用

内容	参加者数	開催日
西神楽中学校	14 人	10/20
神楽中学校	139 人	12/19

エ 巡回実験教室

団体からの要望に応じて職員が出向き、サイエンスショーや理科実験・工作などを行う。

内容	参加者数	開催日
「超低温の実験」, 「色々スライムをつくろう」など	597 人	整理休館日のうち指定する日

(2) 人材育成事業

ア 実習生の受入れ

博物館法施行規則第 1 条に基づき行われる学芸員の資格を得るために必要な博物館での実習を、旭川市博物館と一体的に実施。

内容	参加者数	開催日
学芸員実習	19 人	8/23~8/25
大学生のワークショップ	481 人	8/25
大学生のサイエンスショー	93 人	8/25

イ 人的ネットワークづくりと人材育成

内容	開催地	開催日
JPA 北海道プラネタリウムネットワーク研修会	旭川市	9/24
第 55 回北海道青少年科学館連絡協議会 職員研修会	旭川市	11/13～14

ウ 教育大学生の受入れ

北海道教育大学旭川校で実施している「教育フィールド研究Ⅰ」を受講する学生を受け入れ、社会教育に携わる人材の育成に寄与する。

内容	参加者数	開催日
教育大学生の受け入れ	189 人	7 月～9 月

6 ボランティア事業

科学のおもしろさや学ぶ楽しさを、子供たちに伝えたいという人たちが参加する団体「サイエンスボランティア旭川」による、旭川市科学館の事業運営のサポート及び科学の普及活動。

(1) 概要

ア 団体名 サイエンスボランティア旭川
 イ 代表者 鈴木 紘一（令和元年度）
 ウ 設立年月日 平成 16 年 5 月 15 日
 エ 登録会員数 99 名（うち事務局員 6 名，特別学芸員 59 名） ※令和 2 年 3 月末日現在

(2) 令和元年度従事者数（半日単位）

月	従事日数	延べ従事者数
4 月	25 日	292 人
5 月	26 日	280 人
6 月	25 日	297 人
7 月	27 日	329 人
8 月	31 日	297 人
9 月	24 日	257 人

月	従事日数	延べ従事者数
10 月	26 日	294 人
11 月	26 日	313 人
12 月	25 日	266 人
1 月	22 日	251 人
2 月	24 日	260 人
3 月	26 日	69 人
計		3,205 人

(3) 活動の内容

科学館の運営及び事業の支援	常設展示機器運営・サポート・展示案内・説明 レファレンスルーム管理ほか
自主事業の企画・実施	「日曜ワークショップ」, 「学生の科学展」, 「大人の簡単工作」, 「会員研修」, 「販売促進」, 「出前ワークショップ」, 「親睦活動」の開催。 教育大学旭川校等からの学生ボランティア受入れ。
ミュージアムショップ関連	科学館 1 階ミュージアムショップの一部でオリジナル商品を販売。

(4) 自主事業

内容	参加者数	開催日
日曜ワークショップ	1,745 人	4 月～2 月の日曜日
夏休み・冬休みかんたん工作	3,696 人	夏休み・冬休みの平日
学生の科学展	1,259 人	1/12, 13

(5) 問合せ先

【サイエンスボランティア旭川事務局】

〒078-8391 旭川市宮前 1 条 3 丁目 旭川市科学館内

電話：0166-31-3016 FAX：0166-31-3310

E-mail science_asahikawa@yahoo.co.jp

ホームページ URL <http://asascience.blog.fc2.com/>

Ⅲ その他の取組

1 調査研究活動

(1) 太陽黒点や惑星・月などの天体観測

- ア 太陽黒点 128 回 (日)
- イ 恒星撮影 (シリウスの伴星観測) 1 回
- ウ 日食観測 12/26 1 回

(2) 野外自然観察空間の生態系調査 (隔年実施)

(単位: 種)

年度 調査対象		2006 年	2008 年	2010 年	2012 年	2014 年	2016 年	2018 年
植物	植樹地	41	75	68	67	61	66	68
	池周辺		56	33	35	37	40	31
昆虫		55	54	134	153	118		
鳥類			13	16	18	10		
小型哺乳類		3	2	3	1	1	2	0

2 刊行物

(1) 旭川市科学館報 (平成 30 年度版) 令和元年 5 月発行, 全 23 頁

- ア 旭川市科学館の概要
- イ 平成 30 年度学習普及活動の内容
- ウ 調査研究活動/情報提供活動など
- エ 旭川市科学館利用案内

(2) 旭川市科学館研究報告第 15 号/旭川市博物館研究報告第 26 号

令和 2 年 3 月発行, 全 22 頁 (うち科学館研究報告 13 頁)

- ア 石狩川水系忠別川におけるサクラマスとシロザケの産卵床数の 2019 年の記録
- イ 走査電子顕微鏡の学校における活用

(3) 北における天文略表 令和元年 12 月発行, 全 23 頁

- ア 日の出・入と薄明時間
- イ 月の出・入と月齢
- ウ 2019 年の主な天文現象 ほか

3 広報活動

- (1) 広報誌「こうほう旭川市民」への事業案内, 利用案内等の掲載。
- (2) 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等報道機関その他媒体への情報提供, 取材依頼。
- (3) 科学館理容 v 案内リーフレット, パンフレット等の配布。
- (4) 各種事業のチラシを市内及び近郊の小中学校, 公共施設等に配布。
- (5) ホームページや Facebook を通じて利用案内や事業情報等を発信。
- (6) 「科学館報」の発行, 配布。
- (7) レファレンスルームに科学館の事業活動を紹介する情報コーナーの設置。

IV 令和元年度利用案内

1 開館日等

(1) 開館時間

午前 9 時 30 分から午後 5 時まで（観覧のための入館は午後 4 時 30 分まで）
 ※8 月 11 日から 15 日までは午後 8 時まで（入館は午後 7 時 30 分まで）延長
 ※必要なときは全部又は一部の開館時間を臨時に延長

(2) 開館日 296 日間

(3) 休館日 70 日間

【毎週月曜日】 当該日が祝日に当たるときは、休日を経過した最初の日

【年末年始】 12 月 30 日から翌年 1 月 4 日まで ※1 月 2 日（木）は臨時開館

【毎月末日】 土日祝日に当たるときは、その月末の平日

※12 月 27 日（金）及び 3 月 31 日（金）は臨時開館

【臨時休館】 3 月 3 日から 3 月 25 日まで ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

2 観覧料

中学生以下の観覧料は無料。大人・高校生の観覧料は次のとおり。

(1) 1 日または 1 回の料金

観覧場所			観覧料（円）			
科学館		博物館				
常設展示室 （1 日）	プラネタリウム （1 回）	常設展示室 （1 日）	大人		高校生	
			個人	団体	個人	団体
●			400	320	250	200
	●		300	240	200	160
●	●		500	400	300	240
●		●	500	400	300	240
	●	●	400	320	250	200
●	●	●	700	560	450	360

※団体料金は、同じ料金の者が 20 名以上の場合に適用。

※次に該当する者の観覧料を免除。

①旭川市内在住の満 70 歳以上の方

（鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町在住の満 70 歳以上の方も含む）

②身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者
 （介助対象者と同人数まで）

③介護保険法に定める要介護者及びその介助者（介助対象者と同人数まで）

④学校の児童生徒等を引率する教員又は一般団体引率者

※旭川市，鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生 20 名以上の団体は，科学館の観覧料のみを 5 割減額。

※特別展・企画展については，その都度実行委員会が定める額。

(2) 年間パスポート

対象施設を何度でも観覧できるパスポートを販売している。(有効期間：利用開始日から1年間)

種類	対象施設	料金(円/枚)		販売場所			
		大人	高校生	科学館	博物館	旭山動物園	市内公共施設売店
科学館パスポート	常設展示室 プラネタリウム	1,000	600	●	●	—	●
博物館・科学館 共通パスポート	常設展示室 プラネタリウム 博物館(常設展示)	1,400	900	●	●	—	●
動物園・科学館 共通パスポート	常設展示室 プラネタリウム 旭山動物園	1,820	—	●	—	●	●



科学館パスポート



博物館・科学館
共通パスポート



動物園・科学館
共通パスポート

3 貸室事業

1階の「特別展示室」と「学習・研修室」を、科学館事業等で使用しないときに、学会や市民団体等の各種イベント会場として貸出しています。

(1) 貸室使用料

時間区分 使用区分		午前	午後	全日
		9時30分～13時	13時30分～17時	9時30分～17時
特別展示室	全室	4,500円	4,500円	9,000円
	1/2室	2,250円	2,250円	4,500円
学習・研修室	全室	4,000円	4,000円	8,000円
	1/2室	4,000円	4,000円	4,000円

※使用時間に参加者受付等に要する時間を含む。

※準備、原状回復（会場設営、回復、搬出、搬入）に使用する場合は上記料金の5割に相当する額。

※冷房料（7/1～8/31）及び暖房料（11/1～翌年4/30）を別途徴収。

(2) 令和元年度の使用実績

時間区分 使用区分		午前	午後	全日
		9時30分～13時	13時30分～17時	9時30分～17時
特別展示室	全室	1件	2件	5件
	1/2室	0件	0件	0件
学習・研修室	全室	2件	9件	9件
	1/2室	1件	6件	7件

※科学館事業による使用実績を除く

4 施設へのアクセス

起点	交通手段	路線等
ＪＲ旭川駅	徒歩 25 分	—
	バス（「科学館前」下車）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭川電気軌道バス 82 番線「南高行」（27 番のりば） ・ 旭川電気軌道バス 84 番線「ひじり野 1 の 1 行」（27 番のりば） ・ 旭川電気軌道バス 33 番線「東光 16 条 5 丁目行」（17 番のりば）
ＪＲ旭川四条駅	徒歩 15 分	—
旭川空港	バス（「宮前通東」下車） 徒歩 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭川電気軌道バス 77 番線「旭川市内行き」
その他	自動車	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭川鷹栖 I.C. から約 25 分 ・ 旭川北 I.C. から約 45 分



令和2（2020）年

旭川市科学館報 Vol. 12

令和2年7月発行

発行者 旭川市科学館

旭川市科学館 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番32号

TEL 0166-31-3186 FAX 0166-31-3310

ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/>

メールアドレス kagakukan@city.asahikawa.hokkaido.jp

科学館ホームページ



科学館公式 Facebook



サイパルチャンネル
(YouTube)

